

地方競馬全国協会 会報

第 233 号 平成 14 年 9 月

目 次

<u>公示・入所試験関係</u>	第 8 1 期騎手候補生の募集
<u>競馬関係</u>	
登録関係	馬主及び馬の登録数調べ
<u>人事</u>	平成 1 4 年 8 月
<u>できごと</u>	平成 1 4 年 8 月

第 8 1 期騎手候補生の募集

第 81 期騎手候補生を下記のとおり募集する。

平成 14 年 10 月 1 日

地方競馬全国協会 会長 麿 滋

記

1 募集人員

15 名程度

2 試験を行う場所及び日時

(1) 第 1 次試験

ア 試験場

試験場名	所在地	電話番号
岩手県競馬組合競馬会館	岩手県盛岡市神明町 3-29	(019)625-2351
地方競馬全国協会		
地方競馬教養センター	栃木県那須郡塩原町大字接骨木 443	(0287)36-5511
愛知県競馬組合競馬会館	愛知県名古屋市港区泰明町 1-1	(052)661-9791
園田競馬場	兵庫県尼崎市田能 2-1-1	(06)6491-0601
佐賀競馬場	佐賀県鳥栖市江島町字西谷 3256-228	(0942)83-4538

イ 日時

平成 14 年 12 月 11 日 (水) 午前 10 時開始

(備考) 上記の試験場及び日時については、都合により変更することがある。

(2) 第 2 次試験 (第 1 次試験合格者のみ)

ア 試験場

地方競馬全国協会 地方競馬教養センター(以下「当協会教養センター」という。)

(〒329-2807 栃木県那須郡塩原町大字接骨木443)

イ 日時

平成 15 年 2 月 4 日 (火) から同年 2 月 7 日 (金) までの間で受験者ごとに当協会が指定する日時 (1 泊 2 日)

(備考) 日時については別途受験者本人に協会から通知する。

また、受験者の宿泊場所及び食事は、協会が用意する。

3 受験者の資格

(1) 年齢等

平成 15 年 4 月 1 日現在 15 歳以上 20 歳以下 (昭和 57 年 4 月 2 日から昭和 63 年 4 月 1 日までの間に生まれた者) であること。

(2) 学歴

平成 15 年 3 月中学校卒業見込みの者又は中学校を卒業した者であること。

(3) 身体

ア 身長

平成 15 年 4 月 1 日現在 15 歳及び 16 歳の者 (昭和 61 年 4 月 2 日から昭和 63 年 4 月 1 日までの間に生まれた者。以下「16 歳以下の者」という。) については、原則

として 163.0センチメートル以下、17歳以上 20歳以下の者（昭和 57年 4月 2日から昭和 61年 4月 1日までの間に生まれた者。以下「17歳以上の者」という。）については、原則として 165.0センチメートル以下であること。

イ 体重

16歳以下の者については 43.0キログラム以下、17歳以上の者については 44.0キログラム以下であること。

ウ 視力

両方の眼とも眼鏡（コンタクトレンズを含む）を用いないで 0.6以上であること。

エ 色別力

全色盲又は全色弱でないこと。

オ 聴力

両方の耳とも強度の難聴でないこと。

(4) 乗馬経験

問わない。

(5) その他

ア 成年被後見人及び被保佐人又は破産者で復権を得ない者、禁錮以上の刑に処せられた者及び競馬法、日本中央競馬会法、自転車競技法、小型自動車競走法又はモーターボート競走法の規定に違反して罰金の刑に処せられた者のいずれにも該当しないこと。

イ 申請者の受験資格について審査し、申請者が受験資格に該当しない場合又は身体について明らかに合格基準を満たさない場合には、申請を受け付けない。

(注) (1) 及び(3)において「〇歳」とあるのは、その者の誕生日をもって記載された各年齢に達したものとする。

4 受験申請の手続き

(1) 受験申請に必要な書類等

ア 受験申請書

イ 履歴書

ウ 住民票記載事項証明書（世帯全体のもの。提出日前 3 か月以内に作成されたものに限る。）

エ 念書（成年被後見人及び被保佐人又は破産者で復権を得ない者、禁錮以上の刑に処せられた者及び競馬法、日本中央競馬会法、自転車競技法、小型自動車競走法又はモーターボート競走法の規定に違反して罰金の刑に処せられた者のいずれにも該当していない旨を記載して記名押印し、又は署名したもの）

オ 親権者又は後見人の同意書

カ 最終学校の学業成績証明書（封印したのものに限る。学校の都合により交付が受けられない場合は、学校長がその旨を証明した書類を提出すること。ただし、過去に受験した者で、最終学校卒業後に作成された学業成績証明書を提出した者については、提出は必要ない。）

キ 健康診断書（提出日前 3 か月以内に作成されたものに限る。できる限り公立の病院、大学の附属病院又は総合病院で受診すること。）

ク 写真 3 葉（端正な服装をした縦正面上半身脱帽のライカ版（縦 36 ミリメートル、横 24 ミリメートル）の写真で、提出前 3 か月以内に撮影したもの。裏面に氏名を記載すること。）

ケ 受験者の住所氏名を明記した官製はがき

(備考) 1. 上記のアからキまでの書類については、当協会所定の用紙を使用するものとし、用紙は当協会教養センター又は別記の駐在員に申し出て受け取ること。

なお、郵送を希望する場合は、160 円分の切手を同封して当協会教養センターに請求すること。

2. 現にきゅう務員の認定を受けている者については、ウ及びエの書類の提出

は必要ない。

3. 上記のウの書類については、申請者が外国人の場合には、これに代えて外国人登録済証明書を提出することになるので、当協会教養センターに問い合わせること。

4. 提出された応募書類は、一切返還しない。

(2) 受験申請書等の受付期間及び提出先

受験申請書等は、平成 14 年 11 月 5 日(火)から同年 11 月 25 日(月)までの間に当協会教養センター(〒329-2807 栃木県那須郡塩原町大字接骨木 443)に直接郵送するか、又は別記の駐在員を経由して同センターに提出すること。

5 試験科目

(1) 第 1 次試験

ア 身体

身長及び体重の測定並びに視力、色別力及び聴力の検査

イ 学力

国語、数学及び社会の 3 科目についての筆記試験(中学校卒業程度)

ウ 人物

過去の受験歴、入所歴、競馬業務歴等についての書類審査

(2) 第 2 次試験

ア 身体

身長及び体重の測定並びに視力、色別力及び聴力の検査

イ 運動機能

次の 12 種目による運動能力の検査

〔平衡性〕閉眼片足立ち

〔瞬発力〕垂直跳び

〔筋持久力〕上体起こし、懸垂

〔筋力〕握力、背筋力

〔敏しょう性〕サイドステップ、ジャンプステップテスト、シャトルラン

〔心肺持久力〕1500メートル持久走

〔柔軟性〕上体そらし、立位体前屈

ウ 面接

口頭試問等による騎手及び騎手候補生としての適性審査

6 受験時の注意

- (1) 受験者は、第 1 次試験の際には筆記用具を、第 2 次試験の際には運動服(上下)および運動靴並びに宿泊に必要な衣類、洗面用具等を持参して、所定の試験場に定刻の 30 分前までに集合すること。

- (2) 試験当日に受験資格体重を超えた者は、受験することができない。

7 受験場の変更

受験申請書等の提出後やむを得ない理由により第 1 次試験の受験場の変更を希望する者は、あらかじめ当協会教養センター又は別記の駐在員に申し出て受験場を変更することができる。

8 合格基準

当協会騎手候補生入所試験合否判定基準に基づき判定し、第 1 次試験において成績上位 42 名以内を第 2 次試験の受験資格とし、第 2 次試験において成績上位 15 名程度を合格者とする。

9 試験結果の通知

第 1 次試験の結果は平成 14 年 12 月 20 日(金)に、第 2 次試験の結果は平成 15 年 2 月 17 日(月)に、それぞれ協会から受験者に通知する。(通知日は都合により変更する場合がある。)

10 入所の許可

協会は、第 2 次試験に合格した者に対し当協会教養センターへの入所を許可する。

この場合、入所を許可された者は直ちに下記の書類を同センターに直接郵送するか、又は別記の駐在員を経由して同センターに提出すること。

ア 戸籍謄本

イ 成年被後見人及び被保佐人として登記されていないことの証明書並びに本籍地の市区町村長が発行する身分証明書。

いずれも提出日前 3 か月以内に作成されたものに限る。ただし、入所を許可された日において 20 歳に達していない者(婚姻している者を除く。)及びきゅう務員についてはイの書類の提出は必要ない。

11 入所許可の取り消し

協会は、入所を許可した者で入所の日に受験資格体重から 2 kg を超過した者は、入所の許可を取り消す。

12 養成期間

平成 15 年 4 月から平成 17 年 3 月までの 2 年間

13 養成場所

当協会教養センターにおいて全寮制で行う。ただし、養成期間の途中において 6 か月間の競馬場実習を行う。

14 養成期間中の待遇等

(1) 協会は、訓練に必要な装具(乗馬ズボン、乗馬靴、保護具等)、教材、制服、防寒着等

の経費を負担する。ただし、第 81 期騎手候補生にあつては、在所中の食事にかかる材料費および被服類等の一部は本人の負担とし、その経費は合計 797,000 円を上回らない額とする。

この他、通信費、日用雑貨購入費、嗜好品代等日常生活における経費の個人負担がある。

(2) 協会は、在所中の食事にかかる材料費の負担について、騎手候補生の保護者が生活保

護を受けている等の理由により負担が困難である者については、「食事に要する費用負担に関する実施要領」の定めるところにより、その徴収を猶予又は免除することができる。

(3) 騎手候補生が訓練に起因する事故等により傷病にかかったとき又は死亡した場合には、「地方競馬全国協会講習生災害補償給付規定」の定めるところにより災害補償給付を行う。

15 就業予定競馬場の決定

当協会教養センター入所の際、就業予定競馬場が決定していない者は、競馬場実習の開始時までには就業予定競馬場を決定しなければならない。この場合において、協会は必要に応じ本人の希望を聴取したうえ、主催者等に対し紹介を行う。

16 騎手免許試験の受験

課程修了時に、当協会教養センターにおいて行われる騎手免許試験を受験することができる。

17 受験中の事故の取扱い

受験中に生じた傷害等の事故については、協会はその責を負わない。

18 その他

以上の事項につき不明な点があれば、当協会教養センター又は別記の駐在員に問い合わせること。

別記

駐在員名簿

担当地区	氏名	連絡場所		電話
北海道	藤堂 守	酪農センター	〒060-0003 札幌市中央区北三条西 7-1 第1水産ビル 6F	(011) 747-0106
岩手県	菊池 良治	岩手県競馬組合事務局	〒020-0884 盛岡市神明町 3-29 (競馬会館)	(019) 625-2351
山形県	鏡 紀一郎	上市市競馬事務所	〒999-3101 上市市金瓶字湯坂山 20-1	(023) 672-0373
栃木県	佐野 源一	栃木県総務部公営競技課	〒321-0152 宇都宮市西川田 2-1-1	(028) 658-0031
群馬県	大井田 廣	群馬県競馬組合 境町トレーニングセンター	〒370-0102 群馬県佐波郡境町上瀨名 739	(0270) 76-4321
埼玉県	川島 一男	埼玉県浦和競馬組合 野田管理事務所	〒337-0977 さいたま市上野田 696	(048) 878-2473
千葉県	稲葉 三磨	千葉県競馬組合事務局	〒273-0013 船橋市若松 1-2-1	(047) 431-2156
東京都	名取 悟	地方競馬全国協会	〒106-8639 港区麻布台 2-2-1	(03) 3583-2142
神奈川県	平田 清	神奈川県川崎競馬組合 小向駐在事務所	〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町 15-4	(044) 511-8449
石川県	盛田 豊一	石川県競馬事業局	〒920-3105 金沢市八田町西 1	(076) 258-5761
岐阜県	西川 信義	岐阜県地方競馬組合事務局	〒501-6191 岐阜県羽島郡笠松町若葉町 12	(058) 387-3601
愛知県	杉浦 了	愛知県競馬組合事務局	〒455-0069 名古屋市港区泰明町 1-1	(052) 661-9791
兵庫県	山本 龍二	兵庫県競馬組合 園田管理事務所	〒661-0951 尼崎市田能 2-1-1	(06) 6491-0601
広島県	八木 隆	福山市競馬事務局	〒720-0823 福山市千代田町 1-1-1	(0849) 53-0828
高知県	細木 康彦	高知県競馬組合事務局	〒781-0271 高知市長浜宮田 2000	(088) 841-5123
佐賀県	坂井 和美	佐賀県競馬組合事務局	〒841-0073 鳥栖市江島町字西谷 3256-228	(0942) 83-4538
熊本県	宅間 眞次	荒尾競馬組合事務局	〒864-0003 荒尾市宮内出目 72	(0968) 62-4133

地方競馬全国協会 地方競馬教養センター (電話 0287-36-5511)

〒329-2807 栃木県那須郡塩原町大字接骨木^{にわとこ}443

馬主および馬の登録数調べ

平成14年8月分 登録件数等

区分	登録	抹消	登録証 再交付	登録事項変更			
				住所	馬主	馬名	他
馬主	0	3	3	8			1
馬	528	275	0		259	5	5

競走種別・年齢別の馬登録頭数

種別 年齢	平 地			ばん えい	計
	サラ系	アラ系	小計		
2歳	275	33	308	0	308
3歳	147	0	147	0	147
4歳	44	0	44	0	44
5歳	15	0	15	0	15
6歳以上	14	0	14	0	14
計	495	33	528	0	528

ただし、登録事項の変更及び抹消については8月中に事務処理済みの件数である。

人 事

地方競馬全国協会評議員の任命及び退任について

【任命】

平成 14 年 8 月 13 日付けで農林水産大臣より次のとおり任命された。

任期・平成 14 年 8 月 13 日～平成 17 年 2 月 13 日

麻田 信二 (北海道農政部長)

阿部 作次 (山形県馬主会会長)

佐々木正勝 (岩手県農林水産部長)

中西 吉明 (石川県農林水産部長)

山形 良樹 (日本放送協会報道局スポーツ報道センター(ニュース番組)
統括担当部長)

【退任】

平成 14 年 8 月 12 日付け

伊丹 光則 (石川県農林水産部長)

佐藤 勝 (岩手県農林水産部長)

高柳 裕 (北海道農政部長)

千葉 浩 (社団法人岩手県馬主会会長)

吉澤 章喜 (日本放送協会報道局スポーツ報道センターニュース番組部長)

五十音順敬称略・氏名の括弧内は任命時の職名

地方競馬全国協会役員的人事異動について

【役員退任】 (平成 14 年 8 月 6 日付け)

理事 金井 俊男

【役員就任】 (平成 14 年 8 月 7 日付け)

理事 信國 卓史

できごと

平成14年8月

8月 1日
8月 2日
8月29日
8月30日

創立記念日
永年勤続者表彰式
80期入所試験委員会
JBC実行委員会